学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立沼間小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上

1 個に応じた指導の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ◆基礎学力の定着のための個に応じた指導では、児童実態を踏まえた取り組みを推進する。
- ・読解力の向上については、国語科の授業研究を通して推進していく。
- ・読書活動の推進では、保護者によるボランティアの活用を進める。
- ◆支援教育の充実では、支援委員会と交流委員会を通して、職員全体で取り組むよう推進していく。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・読書活動の推進では保護者による読み聞かせボランティアや図書館ボランティアの協力を仰ぐ。
- ・支援が必要な子どもたちに対して、行事等の際に社会福祉協議会及び教職員OBボランティアの支援を仰ぐ。

・ 行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
1	・夏季休業期間中に児童実態に応じて学習	・夏季休業期間中に児童実態に応じて学	・夏季休業期間中に児童実態に応じて学
基礎学力定着のための	についての支援を行う。	習についての支援を行う。	習についての支援を行う。
	・確実な学力の定着を図るため、少人数指	・学習評価の工夫改善を図る。	・家庭と連携を図り家庭学習の充実を図
個に応じた指導の充実	導を実施する。	・確実な学力の定着を図るため、少人数	る。
		指導の充実を図る	☆学年ごとの到達日標を明確化] て取り

		and the second s	
<u> </u>	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21 (2009) 年度予定内容
2	・市教育研究所主催の授業力向上研修会	・市教育研究所主催の授業力向上研修	・市教育研究所主催の授業力向上研修
読解力向上の取り組み	への教員派遣。		会への教員派遣。 ・国・県学習状況調査の客観的なデータ
の推進	・国語科を中心とした授業研究を行う。	NI 4 the party opposite a service of the service of	・国・原子省私仇嗣重の各帳的なノークーク
		を行う。	☆上記調査データの活用の工夫を図る。
, i		•	以上配刷道ノークの旧パッエスを図る。
	評価A(B·C	評価S(A)·B·C	評価 S・A・B・C
	課題	課題 県学習状況のデータ分析は行ったが	課題
		活用において工夫が必要である。	
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
3	・児童の読書傾向を調べ、蔵書計画を立て	・保護者による読み聞かせボランティアの	・保護者による読み聞かせボランティアの
読書活動の推進	る。	充実を図る。	充実を図る。
***************************************	・保護者による読み聞かせボランティアの導	・市立図書館との連携を進めるための検	・市立図書館との連携を進める。
	入	討をする。	
	ETE ATT A CA	評価 S(A)·B·C	評 価 S・A・B・C
	評 価 A ·() · C 課題	課題 二つの読み聞がせボランティアを1つ	課題
	1000 1000	にするなど活用を図る上で成果が見られた	19A-K23
		が、市立図書館との連携の在り方は、保護者	
		側の連携は図られたが、教職員側は充分で	,
		はなかった。	^
		**************************************	H21(2009)年度予定内容
行動プラン 一	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容 ・支援を必要としている児童の実態調査を	
(4)	・支援を必要としている児童の実態調査を進め、支援の具体的対応の検討をする。	・文援を必要としている允単の実限調査を 進め、支援の具体的対応の検討をする。	を進め、支援の具体的対応の検討をす
支援教育の充実	め、又接の具件的対応の快的でする。	・外部機関等の専門機関と連携を進め	A
1		る。	・外部機関等の専門機関と連携を進め
		್ಯ	5.
***************************************			・支援教育を推進するための教育ボラン
			ティアの活用を図る。
-			☆校内支援教育部中心の支援教育体制
			の充実を図る。
L	評 価 A · (B · C	評価S(·A)・B・C	評価S・A・B・C
	課題	課題 ◆支援を必要としている児童への共	課題
		通理解、支援について組織的な援助等につ	
		いて職員の理解が深まった。児童相談所、教育研究所などの専門機関との連携・強化が	
		図られたが、校内支援教育部中心の体制づ	,
		くりをさらに進める。	
	Table		
	·	ł .	

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立沼間小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上

2 健やかな心と身体の育成

実施計画

①実施計画の重点等

- ・基本的な生活習慣の育成を図り、地域・保護者との連携を進めるために情報発信に努める。
- ・豊かな心を育む教育を充実させるために、家庭・地域との連携を深め、規範意識の醸成に努める。
- ・豊かな体験活動、健康教育を推進させるために、研修会を開催するなどして家庭・地域と連携を促進する。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

豊かな心を育む教育の充実では、各町内会、自治会等の協力を得て、一体となった挨拶運動等を推進する。 豊かな体験活動の推進では、地区の青少年育成推進の会等の協力を仰ぐ。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 基本的な生活習慣の 育成	に努める。 ・小・中間における必要な情報の共有と連携	啓発に努める。 ・小・中間における、児童・生徒の指導上	・学校だより、保健だより、給食だよりを発行して、規則正しい生活習慣の大切さの 啓発に努める。 ・かぐのみ幼稚園、沼間愛児園も含めた 連携と研修会を開催する。
	評 価 A (B)·C	評価 S(·A) · B · C	評価 S・A・B・C
		課題 定期的なたよりの発行にとどまることなく必要に応じてお便りの発行をした。そのため、家庭の周知が図られた面もある。	課題

	and a complete the state of the	H20(2008)年度予定内容	H21 (2009) 年度予定内容
行動プラン ② 豊かな心を育む教育 の充実	H19(2007)年度予定内容 ・学校内の縦割り活動を通して異年齢交流 を進める。 ・家庭・沼間中学校と一体となった挨拶運動	・高学年児童のリーダーシップを発揮した縦割り店 動を通して異年齢交流を進める。 ・家庭・沼間中学校と一体となった挨拶運動を推進 する。	・縦割り活動を通して異年齢交流を進める。 ・家庭・沼間中学校と一体となった挨拶運動
v) /u) <	を推進する。	・地域行事に直接・間接参加することにより奉仕活動に取り組む。	む。 評価:S·A·B·C
	評 価 A · (B) · C 課題	評価 S(·A)・B・C 課題 ◆通年を通しての縦割り活動を実施 することができた。・小学校・中学校が一貫と して挨拶に取り組むことができたが一層の徹	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	底を図る。 	H21(2009)年度予定内容
③ 豊かな体験活動の 推進	・地域行事に直接・間接参加することにより 奉仕活動に取り組む。 ・校内において芸術鑑賞会を開催する。	・地域行事に直接・間接参加することにより奉仕活動に取り組む。 ・沼小祭りを通して地域の伝承遊びを知る。	・地域行事に直接・間接参加することにより奉仕活動に取り組む。 ・校内において芸術鑑賞会を開催する。 ・沼小祭りを通して地域の伝承遊びを知
			る。 ☆学校支援地域本部を立ち上げる。 評価 S · A · B · C
The second secon	評 価 A ()・C 課題	評価 S(・A・B・C) 課題・地域の盆踊り会場の灯籠の製作、ふれあい市場へのジオラマ展示など地域への	課題
		間接参加の機会が増えた。· 沼小祭りの地域 の伝承遊びに参加する児童・地域の方の参 加が増えた。学校支援地域本部を立ち上げ る。	

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21 (2009) 年度予定内容
健康教育の推進	・食の指導に関する年間指導計画を策定する。 ・薬物乱用防止教育や安全教育を推進する。 ・学校給食の充実と個に応じた給食の充実に努 める。	・保護者との連携を図り、健康教育の推進に向けた研修会を設定する。 ・学校給食の充実と個に応じた給食の充実と努める。	育を推進する。 ・学校給食の充実と個に応じた給食の充 実に努める。 ☆食育全体計画を作成する。
	評価A(B)C	評価 S(・A・B・C 課題・健康教育を家庭と連携を図り進めるため、食をテーマに講習会を開催した。・食育の推進を図るため、給食便りを中心に保護者・児童への啓発に努めた。HP上に給食献立の写真を毎日更新した。・食育全体計画を作成する必要がある。	評価 S・A・B・C 課題

学校教育総合プランの実施計画シート(逗子市立沼間小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

1 多様な教育課題への対応

実施計画

①実施計画の重点等

- ・子どもの安全と安心の確保の推進を図るため、地域との連携を深め、パトロール実施地区の拡大を図る。
- ・いじめ・不登校等への対応の推進については、校内の支援体制の充実と外部の専門機関との連携を図り早期発見、早期対応に努める。
- ・幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携推進については、沼間地区の特性を生かし連携・協力することにより子どもや保護者が安心して学校生活を過ごせるように努める。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・子どもの安全と安心の確保を図るため、警察等の関係機関をはじめ町内会・自治会等の協力を得る。
- ・いじめ・不登校への対応については教育研究所をはじめとする専門機関の協力を得る。

			and the same of th
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21 (2009) 年度予定内容
① 子どもの安全と安心の 確保の推進	・CAPプログラムによる防犯教室の実施・教職員、保護者による通学路の点検・町内会・自治会等による通学路パトロールの実施のための啓発活動	・CAP(子ども暴力防止プログラム)による防犯教室の実施・民間警備会社による防犯教室の実施・保護者・町内会・自治会等による通学路パトロールの実施のための啓発活動・校舎内外の安全点検を実施	・CAPプログラムによる防犯教室の実施・民間警備会社による防犯教室の実施・民間警備会社による防犯教室の実施・保護者による通学路の点検・町内会・自治会等による通学路パトロールの実施のための啓発活動・校舎内外の安全点検を実施 ☆町内会・自治会との連携を図る
	評価A (B·C	評価 S(A)·B·C	評 価 S・A・B・C
. •	課題	課題 ・CAP(子ども暴力防止プログラム)の他、民間警備会社による防犯教室の実施をした。・通学路パトロールは学区全域に渡っているが、町内会・自治会の組織化がされていないところもあり町内会・自治会との連携には至っていないところもある。	課題

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21 (2009) 年度予定内容
2	・交流担当者会、支援委員会を設置し、組	・交流担当者会、支援委員会を中心に、	・保護者の支援ニーズに対する共通理解
いじめ・不登校等への	織的な対応を図る。	組織的な対応を図る。	を図るための研修会を実施する。
対応の推進	・中学校との連携を深めるための研修会を	・中学校及び専門機関との連携を深める	・中学校及び専門機関との連携を深める
·	実施する。	ための研修会を実施する。	ための研修会を実施する。
		- T /F 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	THE ATT O
	評価AB·C	評価 S(A)・B・C	評 価 S・A・B・C
	課題	課題・支援委員会において、不登校児童や	課題
		児童指導上の問題について組織的に対応・	
		改善に努めた。・沼間中学校と情報交換をす	
	1	るとともにスクールカウンセラーを講師に研修	
•		会を実施した。	·
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
3	・小・中の授業交流について協議する。	・小・中の授業交流を実施する。	・小・中の授業交流を実施する。
幼稚園・保育園・小学	・沼間愛児園、かぐのみ幼稚園との連携に	・沼間愛児園、かぐのみ幼稚園の園児と	・沼間愛児園、かぐのみ幼稚園の園児と
校・中学校の連携の	ついて検討をする。	の交流の機会を設ける。	の交流の機会を設ける。
推進	・部活体験をさせていただく。	・部活体験をさせていただく。	・沼間愛児園、かぐのみ幼稚園、沼間小・
-			中との指導上必要な情報共有と連携に
			努める
		·	,
	## AT A CD C	評価 S (A)・B・C	評価 S・A・B・C
•	評価 A · B · C 課題	課題・沼間中学校の校長をはじめ教員によ	
	联 超	お題・治師中子校の校長をはじめ教員による授業を実施した。 沼間愛児園、かぐのみ	京木 KB
	. 7	幼稚園との授業交流を実施した。・沼間中学	
		校の部活体験を6年全員に実施した。	
•			
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
(4).	・英語活動のカリキュラムの再検討	・英語活動の授業のための授業研究を実	
国際理解教育の推進	・英語活動の授業のための授業研究を実施		・異文化理解・他文化共生のために体験
国际经济教育*7加险	・異文化理解・他文化共生のための人的な	・異文化理解・他文化共生のために体験	入学者や地域の教育力を活用する。
	資源発掘に努める。	入学者や地域の教育力を活用する。	
-	:		
	評価A·(B)·C	評価 SCA:B·C	評価 S・A・B・C
	課題	課題・英語活動(外国語活動)のために研	課題
		修会を19時間分計画実施した。併せて、授	
	,	業研究を実施した。・異文化理解を推進する	
		ため、外国人の体験入学を受け入れたがこ	
		れらの体験を生かしていきたい。	
•			

			* ,
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑤ キャリア教育の推進	・キャリア教育の共通理解を図るために、 キャリア教育の研修会に職員を派遣する。 ・「能力・態度」の育成を軸とした学習プログラムの開発に努める。 ・勤労生産・奉仕の活動の充実を図る。	・子どもによる沼小祭りにおけるショップ出店により、職業体験をさせる。 ・勤労生産・奉仕の活動の充実を図る。	・子どもによる沼小祭りにおけるショップ 出店を増やしり職業体験をさせ、さらに 取り組みを発展させる。 ・「能力・態度」の育成を軸とした学習プロ グラムの再検討に努める。 ・勤労生産・奉仕の活動の充実を図る。
	評価A·(B)・C	評価 S·A(B·C	評価 S・A・B・C
	課題	課題 沼小祭りに於ける子どもショップ出店 を前年の倍に増やすことはできたが、全校的 な取り組みには至らなかった。	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑥ 福祉教育の推進	・人権教育を推進するために、社会福祉協 議会の協力を得て、体験活動を進める。 ・総合学習の時間等を活用し福祉教育を推 進する。	・地域の高齢者を招き、温かい関係作りを推進するための体験活動を進める。 ・総合学習の時間等を活用し福祉教育を推進する。	・人権教育を推進するために、社会福祉協議会の協力を得て、体験活動を進める。 ・総合学習の時間等を活用して福祉教育を推進し、充実させる。
	評価A·B·C	評価 S(→)・B・C	評価 S・A・B・C
	課題	課題・運動会・音楽会等の学校行事に地域の高齢者を招待した。・福祉教育は4年、5年生が総合学習を中心に実施した。社会福祉協議会等の関係機関との連携も図られたがさらに充実させたい。	課題
,	1110(0007) /r: FF 52+/r: F- 757	1190/0000)	H21 (2009) 年度予定内容
行動プラン ⑦ 環境教育の推進	H19(2007)年度実施内容 ・環境教育を推進するために、学年に応じた体験活動を進める。 ・稲作のための田んぼを作る。 ・環境教育を保護者め地域に広がることを期待してビオトープの計画策定にあたる。	H20(2008)年度予定内容 ・環境教育を推進するために、学年に応じた体験活動を進める。 ・田んぼの改修をする。 ・ビオトープ作る。	・環境教育を推進するために、学年に応じた体験活動を進める。 ・田んぼ、ビオトープの維持管理をする。 ☆「特色ある学校づくり」の市委託を受け、実践していく。
	評価A·B·C	評価 S A・B・C	評価 S・A・B・C
	課題	課題・グリーンカーテンの取り組みはできたが、田んぼの改修は現況でも活用できたため、次年度の計画とした。・ビオトーブの計画は田んぼの改修と一体として進めていく。	課題

動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21 (2009) 年度予定内容	
育の推進	・情報機器の活用能力の育成に努める。 ・情報リテラシーの育成やモラルの教育に努	・情報機器の活用能力の育成に努める。 ・情報リテラシーの育成やモラルの教育に	・機器更新を機会に、校内LANの研究 に着手する。	
	める。	努める。	・情報リテラシーの育成やモラルの教育	
-		・機器更新を機会に、情報教育の授業に取り組む。	に努める。 ☆個人情報保護の周知徹底を図り、事	
			故防止に努める。	
			3	
•	評価A·(B)·C	評価 S(·A) · B · C	評 価 S・A・B・C	
·	課題	課題・機器更新に伴い、校内研修会を実施した。情報教育の授業研究に取り組んだ。	課題	
		USBの保管・管理も含め情報モラルの育成、個人情報の保護について周知した。		
,				
•		•		

学校教育総合プランの実施計画シート (逗子市立沼間小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

2 地域に開かれた学校づくり

実施計画

①実施計画の重点等

- ・地域への情報発信に努めるとともに学校説明会や授業公開日等を活用して学校公開に努める。
- ・地域教育力の活用を図るため、地域の方々とのコミュニケーションの推進に努める。
- ・学校評価を生かした学校の改善を図るため、自己評価及び外部評価を行う。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・読書活動の推進のために、地域・保護者の方々による読み聞かせボランティアの活用を図る。
- ・通学路の安全確保のため、町内会、自治会等による通学路・地域パトロールの協力を依頼する。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	・地域行事への直接・間接参加をする。 ・HPの毎週更新をする。	・地域行事へ、作品による参加とともに人的参加の検討をする。 ・HPの毎週更新をする。 ・HPにPTAの参加を得て、情報の発信をする。 ・授業参観等を活用して家庭との連携を図る	・地域行事へ、作品による参加とともに人的参加をする。 ・ホームページの毎週更新をする。 ・授業参観を活用して家庭と連携を図る。 ☆ホームページを充実させる。
	評 価 A ·(B)・C	評価 S ⊘ · B · C	評価 S・A・B・C
	課題	課題・地域イベントへの作品参加は推進できたが、人的な参加には至っていない。・HPの更新は食育面では達成したが、他は不十分であった。	課題

行動プラン		H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
② 地域教育力の活用	・教育ボランティア活動への参加依頼を進める。 ・読み聞かせボランティア活用 ・クラブ活動への地域教育力活用の検討する。	・教育ボランティア活動(支援教育も含め)への参加依頼を進める。 ・読み聞かせボランティア活用の充実を図る。 ・クラブ活動への地域教育力の活用を図る。	・教育ボランティア活動(支援教育も含め)への参加依頼を進める。 ・読み聞かせボランティア活用の充実を 図る。
	評価A·D·C 課題	評価 S (A ・ B ・ C 課題・福祉教育や地域学習さらには鎌倉学習など保護者を中心とした教育ボランティアの活用を図った。・読み聞かせボランティアの一層の活用が図られたがさらなる充実を目指したい。	評価 S・A・B・C 課題
行動プラン ③ 学校評価を生かした 学校の改善	H19(2007)年度予定内容 ・学校評価の検討・自己、外部評価実施。 ・第3者による評価も含めて研修実施。 ・学校評議員会の充実を図る。	H20(2008)年度予定内容 ・学校評価の検討・自己、外部評価実施。 ・学校説明会、授業公開等を活用して、学校の評価を発信していく。	H21(2009)年度予定内容 ・学校評価の内容検討。 ・自己評価と併せた学校関係者評価の実施。 ☆学校評価のホームページ上での公開を検討する。 ・学校説明会、授業公開等を活用して、学校の評価を発信していく。 ・学校評議員会の充実を図る。
	評価 A・(B)・C 課題	評価 S (A)・B・C 課題・自己評価、学校関係者評価を実施し、公表をした。学校説明会において、評価の一部を公表した。ホームページ上に工夫して公開する。	評価 S・A・B・C 課題

学校教育総合プランの実施計画シート

(逗子市立沼間小学校)

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

Ⅲ 教員の指導力向上

1 教員研修・研究の充実

実施計画

①実施計画の重点等

- ・授業研究の充実では、外部講師の招聘を積極的に進め授業研究の活性化を図る。
- ・授業評価の活用では、授業評価シートを活用し研究の充実に努める。
- ・地域教材の積極的活用・開発の促進では、地域の教材の掘り起こしを行い、児童の学習意欲の向上を図る。

②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・授業評価の活用では、地域・保護者の方々にも授業参観時において、授業評価の協力を仰ぐ。
- ・地域教材の積極的活用・開発の促進では、地域の有識者等の教育力を活用するとともに中学校との連携を図り授業の充実に努める。

行動プラン	H19(2007)年度予定内容	'H20(2008)年度予定内容	H21 (2009)年度予定内容
受業研究の充実	・授業研究を公開する。 ・外部講師を招聘する。 ・他校の研究発表に教員を派遣する。	・授業研究を公開し、学校間の実践交流を進める。 ・外部講師を招聘し授業研究をする。	・授業研究を公開し、学校間の実践交流を進める。 ・外部講師を招聘し授業研究をする。 ・教育研究所や他機関に教員を派遣し、 本校の授業研究に資する資料収集・教 材研究に努める。 ☆日常の授業に成果を生かしていく。
	評価A·B·C	評価 S·A B·C	評価.S・A・B・C
	課題	課題・逗子教育研究会、研究所の研究員会主催の授業研究に積極的に参加し授業公開に努めた。・市教育委員会委託研究における授業研究は3教科アプローチとし、外部講師の招聘もすすめたので授業に生かしたい。	課題

•	•		
② 授業評価の活用	・授業評価シートの活用検討。・学習状況調査の分析。・授業力向上の授業研究	・授業評価シートの活用。・学習状況調査の分析。	・外部講師による授業評価も含めたような 観点から授業評価を行う。 ・学習状況調査の分析結果を日常の指 導に活用する。
	評価A・B・C 課題	評価 S・A・B・C 課題・学習状況調査の分析は進めたが活用には課題が残った。	評価 S・A・B・C 課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容		H21(2009)年度予定内容
3	・地域素材活用のため、講師を招聘しての研修会開催。・地域素材を活用した小・中学校の連携。	・地域素材活用のため、講師を招聘しての研修会開催。 ・地域素材を活用した小・中学校の連携授業。	・地域素材活用のため、講師を招聘しての研修会開催。・地域素材を活用した小・中学校の連携授業の実践を進める。・地域の郷土資料館を活用する。
 	評価 A・(B)・C	評価 S·A·(B)·C	評価 S・A・B・C
		課題・地域教材の活用は図ることができたが、講師を招聘しての研修会は開催できなかった。	課題
行動プラン	H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
研修事業の充実	・研究所及び学校教育課、県教育委員会主催の研修会に教員を積極的に派遣する。 ・自主的な教員研修を支援する体制を作る。	・研究所及び学校教育課、県教育委員会主催の研修会に教員を積極的に派遣する。 ・自主的な教員研修を支援する体制を作る。	・研究所及び学校教育課、県教育委員会主催の研修会に教員を積極的に派遣する。 ・校内で相互に教員研修を実施する。 ・経験年数に応じた職能開発の検討。
Patrick of the solution of the	評 価 A · (3) · C	評価 S·A·(B)·C	評価 S・A・B・C
	課題	課題 校内研究にとどまることなく、様々な研修の機会を活用して授業力向上に向けて、組織的に取り組んだが経験年数に応じた職能開発も必要である。	課題